

論文番号 40

担当

滋賀医科大学 福祉保健医学講座

題名 (原題/訳)

Autonomic Nervous Function in Alcohol-Related Chronic Pancreatitis

アルコール関連慢性膵炎における自律神経機能について

執筆者

Rosa-e-Silva L, Oliveira RB, Troncon LE, Foss MC, Souza CS, Gallo L Jr

掲載誌 (番号又は発行年月日)

Pancreas 2000 May 20(4): 361-6

キーワード

慢性膵炎、末梢神経障害、自律神経障害、糖尿病

要旨

アルコール関連慢性膵炎(ARCP)の患者はしばしば末梢神経障害を持つ。しかし、自律神経障害(AN)の発生についてのデータは得られていない。自律神経機能とARCPの予後へのその異常の重要性を調べるために、18人のARCPかつ糖尿病患者、10人のARCP患者、17人のインスリン依存性糖尿病患者、18人の健常者が質問票に答え、自律神経機能を調べるための6つの異なる媒介変数を持つ3つの標準化された循環器のテストをうけた。少なくとも一つの自覚症状とテストで二つの異常結果を示した患者がANを有するとみなされた。ARCP患者は48ヶ月追跡され、死亡率が記録された。ANを有するとみなされた患者の割合は、ARCPかつ糖尿病患者では66.6%、ARCP患者では30.0%、インスリン依存性糖尿病患者では29.4%であった。ANを有する15人のARCP患者のうち7人が追跡期間のうちに死亡した。一方、ANを有さないARCP患者13人からは一人だった($p < 0.037$)。結論として、ANはARCP患者によく見出され、予後不良を意味する。